

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画(該当課一覧表)

NO	部	課	ページ	備考
1	市民部	人権センター	P.1～P.7	
2		環境課	P.8～P.9	海津木苑
3	総務部	総務課・総務係 地域コミュニティ室	P.10～P.11	行政区長・消防団役員研修外
4		総務課・男女共同参画係	P.12	
5		経営企画課	P.13	
6		人事課	P.14～P.15	
7	保健福祉部	子育て支援課	P.16	
8		福祉課	P.17～P.18	
9		隣保館	P.19～P.20	
10	建設産業部	農林振興課	P.21	
11		商工政策課	P.22	・企業内人権・同和問題研修 推進員会議
12		水道課⇒下水道課	P.23～P.24	・建設業者等「同和」問題研修会 27年度取組結果
13				・建設業者等「同和」問題研修会 28年度取組計画
14	教育部	学校教育課	P.25～P.32	
15		生涯学習推進課	P.33～P.34	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

市民部

人権センター課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>「古賀市人権施策基本指針」に基づき、人権施策を推進する。</p> <p>【計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 同和問題啓発事業（同和問題を考える市民のつどい事業） 2. 人権尊重啓発事業（いのち輝くまち☆こが2015） 3. 広報紙等による啓発事業 4. 人権相談事業（そうだん5） 5. 人権啓発事業（人権の花運動） 6. 人権教育・啓発情報発信事業（みんなの人権ひろば） 7. 出前講座事業 8. 社会人権・同和教育推進事務（みんなの人権セミナー・校区人権啓発研修会） 9. 古賀市人権施策基本指針に基づく「2015年度実施計画」の作成 10. その他事業 	<p>別紙様式②のとおり</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>「古賀市人権施策基本指針」に基づき、人権施策を推進する。</p> <p>【計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 同和問題啓発事業（同和問題を考える市民のつどい事業） 2. 人権尊重啓発事業（いのち輝くまち☆こが2016） 3. 広報紙等による啓発事業 4. 人権相談事業（そうだん5） 5. 人権啓発事業（人権の花運動） 6. 人権教育・啓発情報発信事業（みんなの人権ひろば） 7. 出前講座事業 8. 社会人権・同和教育推進事務（みんなの人権セミナー・校区人権啓発研修会） 9. 古賀市人権施策基本指針に基づく「2016年度実施計画」の策定 10. その他事業 	

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
2015年度 同和問題啓発強調月間事業					
1 7月4日	第35回古賀市同和問題を考える市民のつどい	古賀市立 古賀北中学校 体育館	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「橋はかかる」 ～被差別部落に生まれ育って～ 講師 村崎 太郎 氏 ・参加者 639人 	<p>○本年度はリーパスプラザ施設建設のため、会場を北中学校体育館とした。</p> <p>○20代の参加者が全体の1割ほどあり、平成26年度と比較すると2倍に増えた。参加者から、「差別に屈することなく向き合う強さを感じ、勇気をもらいました」、『自分自身の「人権」に対する思いや、認識の甘さを痛感するとともに、改めて考え直していきたい』など、同和問題に対するこれまでの認識が、講師の話聞いて「気づき・理解・行動」へとつながる講演であったとの意見が寄せられた。</p> <p>○学校教員からは、「生徒にどう伝えたらよいか考えていますが、生徒に伝える前に自分自身が正しい人権感覚・認識を持たなければと思い、自信を持って授業で伝えたいと思う」との感想があり、このつどいが人権・同和教育の場となり、先生方にとっても学びが深まる機会となった。</p> <p>●参加者によるアンケートには、「もっと多くの人に聞いてほしい」という意見がある。会場の収容人数には制限があるが、市民のつどい以外でも出前講座や、社同推事業など、さらに充実した内容を検討し、市民の方々が身近に学ぶ機会となるよう考えていきたい。</p>
いのち輝くまち☆こが2015					
2 12月6日	いのち輝くまち☆こが2015	リーパスプラザ 研修等	市民	<p>午前の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権作文発表 ・講演 「キッチンから始まる家族の絆」 講師 コウ ケンテツ 氏 ・舞の里小学校によるステージ発表 「長崎から未来へ」～伝えよう、この思い～ ・市内事業所による活動パネル展示等 ・人権作品(ポスター・標語)掲示 ・市民活動団体等による物品販売 ・参加者 830人 	<p>○小・中・高4名の作文発表で、その中の作品について福祉団体から会報に掲載したい旨の依頼があった。発表者の思いが参加者へしっかりと伝わった。</p> <p>○昨年度の社同推・市P連・福岡県共催の第6回みんなの人権セミナー・福岡県民講座において、「心」をテーマに「家族で食卓を囲むことの大切さ」などを考える講座であったが、これをつなげる形で「食」をテーマに「家族の絆」について講演をいただいた。</p> <p>○市内事業所の、「人権を尊重する取り組み」についてのパネル展示を行うなど、事業内容の側面を見ることができた。</p> <p>●本年度は「食」をテーマとした講演内容であり、午後の第1分科会と連動した内容とした。1つのテーマのつながりから、いろんな角度からの人権について学ぶことができ、今後の「いのち輝くまち☆こが」に参考としたい。</p> <p>●講演にパソコンを使用したのが、準備不足があり前半の話に支障をきたしたことから、機材や資料の確認等については、講師と事前の打ち合わせを十分行う必要がある。</p>

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
2 12月6日	いのち輝くまち☆こが2015	リーパスプラザ 研修等		午後の部 ・第1分科会 「いただきます」で元気な体をつくろう ～しっかり食べて、すっきりうんち～ 予防健診課、鹿部保育所、海津木苑、まんま実～や ・第2分科会 地域や仲間との交流を通した小中学校のキャリア教育 ～情緒的・社会的に自立することをめざして～ 千鳥小学校、古賀中学校 ・第3分科会 「つながる」って、温かいね、すてきだね 古賀東小学校、えんがわくらぶ ・特別講座「竹田の子守唄」～名曲に隠された真実～ 講師 藤田 正 氏	【第1分科会】 ○パネルディスカッション形式で行い、行政と地域が「食育」、「排育」の取組みを紹介する中で、それぞれの成果や課題を共有し、参加者が自分のこととして考える分科会となった。 ●分科会の内容について、構成や進行等準備不足であったため、関係団体等への周知不足となった。 【第2分科会】 ○発表校の総合的な学習の系統性や意義、重点目標等について、学校間で共有できた分科会となり、それぞれの学校での取組みにつながる内容であった。 ●分科会の内容から学校関係者が多く、一般参加者が少なかった。会場も研修室で行ったため、収容人数に制限される。 【第3分科会】 ○えんがわクラブとの交流で、古賀東小学校での人権教育の課題や、取組みの成果を助言者とともに考えることができた。 ●学校と地域のつながりをテーマとした分科会で、市内ではそれぞれの学校で、それぞれのつながりがある。参加者との意見交換等ができる分科会も検討したい。 【特別講座】 ○「竹田の子守唄」については多くの人知っているかもしれないが、それが同和問題とどう関係しているかということをはじめて理解したという参加者が多かった。子守唄に込められた思いを、家族に伝えたいとの意見もあった。 ●会場が市役所で、全体会場と離れていたが、若年層の参加もあった。さらに子どもも参加できる講座内容となるよう主催の社同推で検討したい。
広報誌等による啓発事業					
3 4月号	ヒューマンライツ 192	広報	市民	・介護保険制度が変わります 【介護支援課】	○各課からの人権啓発の取組みが、市民の人権意識高揚に資するとともに、人権学習の教材としてもわかりやすく、身近なこととして掲載されている。
5月号	ヒューマンライツ 193			・全国一斉「人権擁護委員の日」特設人権相談所開設 【人権センター】 ・戦争を今一度考える 【福祉課】	
6月号	ヒューマンライツ 194			・第35回古賀市同和問題を考える市民のつどい 【人権センター】	
7月号	ヒューマンライツ 195			・ひまわりってなんの花？ ・そうだん5 ・みんなの人権セミナー 【人権センター】	
8月号	ヒューマンライツ 196			・「イザ」というときの助け合い 【福祉課】 ・みんなの人権セミナー 【人権センター】	
9月号	ヒューマンライツ 197			・地域で安心して暮らすために 【福祉課】	
10月号	ヒューマンライツ 198			・セルフネグレクト 【介護支援課】	
○古賀市人権施策基本指針に基づき、各課からの人権啓発の取組みを掲載し、市民の人権意識高揚を図っている。					

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

	月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
3	11月号	ヒューマンライツ 199	広報	市民	・いのち輝くまち☆こが 2015 ・みんなの人権セミナー【人権センター】	
	12月号	ヒューマンライツ 200			・同和問題はそっとしておけばなくなるのでしょうか？ ・みんなの人権セミナー【人権センター】	
	1月号	ヒューマンライツ 201			・認知症サポーターにできること 【介護支援課】	
	2月号	ヒューマンライツ 202			・戦争を知る 平和を感じる 【福祉課】	
	3月号	ヒューマンライツ 203			・あなたの大事な人を救うため、あなたも声をかけよう！ 【予防健診課】	
	12月号	いのち輝くまち☆こが2015	行事予定表裏面	・いのち輝くまち☆こが 2015 【人権センター】		
人権相談事業(そうだん5)						
4	毎月5が付く日	そうだん5	市民交流室	市民	・毎月5が付く日に、人権擁護委員及び行政相談委員による「そうだん5(ファイブ)」を開設。	○平成27年度78件の相談実績。 ・相談日の前日までに予約を受け、相談内容を事前に相談員に伝えることで迅速に対応でき、人権擁護委員や行政相談委員が相談者とともに問題解決を図ることができた。
	6月1日	全国一斉特設人権相談所			・6月1日に全国一斉特設人権相談所開設。	○6月の人権擁護委員の日に向け、市広報紙への掲載や街頭啓発の際に「そうだん5(ファイブ)」のカードを配布するなど、市民への周知を図ることができた。
人権の花運動						
5	11月4日 11月7日 11月8日 11月25日	人権の花運動	舞の里小学校 花鶴小学校 小野小学校 鹿部保育所	3学年児童 保育所園児	・人権の花ひまわりの育成 ・人権教室の実施 ・各学校フェスタ、保育所行事での発表	○事業の過程において、人権擁護委員による人権教室を実施し、ひまわりの花言葉や命の大切さ、お互いが協力し合うことで人権意識が醸成される。 ○本年度は各学校フェスタの日程が違ったため、3校において実施できた。また、市立保育所でも実施でき、子どもたちにも好評であった。
人権啓発「みんなの人権ひろば」事業						
6	7月1日～31日	歩く広告塔		市職員	・市民に同和問題啓発強調月間の周知を図るため、職員が着用している名札に広告を掲載する	●本年度はリーパスプラザエントランスロビーが使用できなかったことから、市民に対する周知を行った。
	12月1日～10日	みんなの人権ひろば	リーパスプラザ	市民	・市内事業所パネル展示 ・人権作品(ポスター・標語)掲示 ・飲食物の提供	○市内の事業所が取り組む内容や作品展示を行うことで、参加者に周知することができた。

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
出前講座事業					
7	出前講座	舞の里3区 集会所	自治会	啓発ビデオ「秋桜の咲く日」	<p>○出前講座は実施要綱に基づいて行うもので、「人権ひろば(考えよう みんなの人権)」を講座名とし、市民や団体等を対象としています。講師は職員で、1時間程度の研修会を行っており、30分前後の人権啓発教材(主にDVD)を活用し、残り30分はグループ討議や、意見交換等を行っています。最大の成果は自治会や団体等が年間事業の中に人権研修会を位置づけ、それが定着しており、人権教育・啓発活動が自主的に行われていることだと考えます。</p> <p>○講座の内容について、申請者と事前の打ち合わせを行うことで、講座の内容が充実している。毎年継続して申し込まれる団体等は、過去の研修内容を振り返り、様々な人権課題について学んだことを家庭の中に持ち帰り、家族で共有し、改めて人権について考える機会となっている。</p> <p>○「もっといろいろな人権課題について学習したい」、「回数を増やしてほしい」などの意見が多い。</p>
		花鶴丘3丁目区 公民館	成人学級	啓発ビデオ「秋桜の咲く日」	
	出前講座	花鶴丘2丁目区 公民館	成人学級	啓発ビデオ「探梅」～春とおからじ～	
		古賀北区公民館	北区分館学級	啓発ビデオ「ヒーロー」	
		千鳥苑	古賀市 子ども会育成会連合会	啓発ビデオ「ヒーロー」	
		庄南区公民館	庄南みらい塾	啓発ビデオ「ヒーロー」	
		サンコスモ古賀 201・202	古賀市老人クラブ	啓発ビデオ「ヒーロー」	
		鹿部公民館	鹿部区	啓発ビデオ「あなたに伝えたいこと」	
		古賀団地公民館	成人学級	啓発ビデオ「秋桜の咲く日」	
		鹿部公民館	鹿部区老人クラブ (明友会)	啓発ビデオ「未来を拓く5つの扉」	
		舞の里3区 集会所	舞の里3区自治会	啓発ビデオ「探梅」～春とおからじ～	
		3月27日			
3月26日					
3月1日					
2月21日					
2月1日					
12月25日					
11月4日					
9月10日					
6月27日					
4月25日					
4月11日					
みんなの人権セミナー事業					
8	みんなの人権セミナー	サンコスモ古賀 201・202	市民	「精神障害者とその家族の人権」 ～偏見と差別の中で生きる実態～ 講師：川崎 洋子	<p>○本年度テーマを「ひとりで悩まないで。解決策はきっとある！」とし、フィールドワークを交えた内容で実施した。</p> <p>●本年度第6回セミナーでは、市P連との共催により実施するよう当初より計画していたが、当日悪天候により中止となった。</p> <p>●みんなの人権セミナーではいろんな角度から人権課題の解決に向け、人権について考え、学ぶ機会を提供したい。</p>
		サンコスモ古賀 201・202		「多様な”私たちの性”」 ～知っていますか？13人に一人いるLGBTのこと～ 講師：眞野 豊	
		福岡県筑前町		人権フィールドワーク「真の平和について学ぼう」 ～かつて東洋一と謳われた旧陸軍大刀洗飛行場をめぐる～	
		サンコスモ古賀 201・202		「犯罪被害に遭って思うこと」 講師：宮元 篤紀	
		古賀市役所 501・502・503		いのち輝くまち☆こが2015 特別講座 「竹田の子守唄」～名曲に隠された真実～ 講師：藤田 正	
		リーパスプラザ 大ホール		※当日悪天候のため中止	
1月24日					
12月6日					
11月14日					
10月3日					
9月19日					
8月1日					

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題		
校区啓発研修事業							
8	校区人権啓発研修会	薬王寺公民館	小野小校区	講演 「高齢者の人権」 講師 消費生活センター 池山 喜美子	○社同推地区推進部会が実施する校区人権啓発研修会は、小学校8校区区長をはじめ、区の役員により、住民への周知や会場設営等研修会の準備が自主的な取り組みとして定着している。 ○校区の代表者との打ち合わせにより、同和問題をはじめ、高齢者の人権や女性の人権など、様々な人権課題について研修を実施することができた。 ●校区代表者や区長・役員の方々に、開催周知のための広報活動や呼びかけを行っていただき、周知を図っていただいているが、なかなか参加者が少ない。参加者によるアンケートから、「もっと多くの人に聞いてほしい・参加してほしい」という意見から、例えば参加者による口コミ周知など工夫をする必要がある。		
		薬王寺公民館	小野小校区	啓発ビデオ 「imagination」 ～思う つながる 一歩ふみだす～			
		町川原1区 公民館	青柳小校区	啓発ビデオ 「ヒーロー」			
		2月10日		講演 「女性の人権」 講師 県男女共同参画課			
		10月29日	花鶴丘1丁目区 公民館	花鶴小校区		ワークショップ 「みつけてみよう！ ひとにやさしいまちってどんなまち？」	
		1月28日	東区公民館			啓発ビデオ 「探梅」 ～春とおからじ～	
		10月17日		千鳥苑		千鳥小校区	啓発ビデオ 「今日もよか天気たい」
		2月20日					講演 「さまざまな人権 家族から民族まで」 講師 溪雲寺住職 土江 賢隆
		9月26日		古賀南区公民館		古賀西小校区	啓発ビデオ 「imagination」 ～思う つながる 一歩ふみだす～
		2月29日					講演 「精神障害について」 講師 地域活動センター みどり
		11月5日		久保西公民館		古賀東小校区	啓発ビデオ 「ヒーロー」
		1月24日					講演 「悪徳商法と高齢者の人権」 講師 消費生活センター 池山 喜美子
		11月28日		花見東1区 公民館		花見小校区	啓発ビデオ 「あなたに伝えたいこと」
		2月20日					講演 「笑顔で語ろう 人権問題」 講師 人権落語 粗忽屋 勘心
		11月22日		舞の里4区 集会所		舞の里小校区	啓発ビデオ 「ヒーロー」
2月14日		講演 「高齢者の人権」 講師 古賀市社会福祉協議会					

人権センター 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題	
古賀市人権施策基本指針に基づく平成27年度年度実施計画の作成						
9	3月～6月	27年度実施計画		<ul style="list-style-type: none"> ・26年度に実施した事業の内容及び成果と評価と課題 ・27年度の方向性と計画を実施計画として作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の人権施策の総括を行い、次年度または今後の方向性を明確にする。 ○27年度は55事業。 ●実施計画における成果と評価に加え、課題を整理したうえで次年度事業につなげることが大切である。 	
その他の事業						
10	5月15日	人権擁護委員の日 街頭啓発	商業施設	市民	・法務省が定める人権擁護委員の日及び全国一斉特設人権相談所開設の市民への周知	
	5月25日	古賀市 新規採用職員人権研修	市役所	新規採用職員	・市の人権施策及び人権センターの役割について	○人事課との連携により研修会を実施。「本市の人権施策の取り組みについて」
	7月9日	香川県坂出市議視察	人権センター	坂出市議会議員	・古賀市が取り組む人権施策について	
	9月29日	小郡市視察	人権センター	小郡市 人権・同和対策課	・古賀市が取り組む人権施策について	
	12月10日	人権研修	玄界環境組合 古賀工場	職員	・啓発ビデオ：「ヒーロー」	○啓発教材を使用し、グループ討議を実施した。 ●研修テーマなど企画については主催者側と打ち合わせを行っているが、もっと自主性・主体性を持つ必要がある。
	12月11日	人権研修	玄界環境組合 宗像工場	職員		
	随時	ネットパトロール	人権センター		・差別書き込みが確認されたサイト(5件)を毎日確認	○サイト中差別書き込みが確認された場合、各所属長に対し周知を行っている。特に悪質な書き込みは庁議報告を行った。 ●各職員に対する周知を所属長にゆだねている。所属長の認識力を高め、正しい情報共有が行えるよう研修を行っていきたい。

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

市民 部 環境課 海津木苑 課

2015年度(平成27年度)取組計画	2015年度(平成27年度)取組結果
<p>方向性 :27年度においても、定着している次の普及啓発事業及び施設研修見学対応事業を基本事業として継続し、施設の設置経過及び海津木苑における高度処理の現状を広く市民に提起しながら人権問題との関係性を啓発していく。</p> <p>計画：</p> <p>① 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まつり古賀等各種イベントにおけるパネル展示等(処理工程・設置経過等) ○ 公共施設におけるパネル展示等(処理工程、設置経過等) ○ 出前講座における講話(処理工程、設置経過、排育等) <p>② 施設研修見学対応事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内小中学校新任転任管理職等を対象とした施設研修の受け入れ ○ 市内8小学校の4年生及び新宮町小学校4年生を対象とした施設見学 ○ 古賀市内各団体等を対象とした施設研修の受け入れ <p>③ 委託業者職員に対する研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間業務を委託している業者職員に対する設置経過等の研修の実施 	<p>主な事業内容</p> <p>① 普及啓発事業関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まつり古賀において施設等のパネル展示(処理工程、「排育」等) ○ 公共施設(ひだまり館)におけるパネル展示等(出前講座等) <p>② 施設研修見学対応事業関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内小中学校新任転任管理職等を対象とした施設研修の受け入れ (8名) ○ 市内8小学校の4年生及び新宮町小学校4年生を対象とした施設見学 (711名) ○ 新規採用職員施設研修の受け入れ (23名) ○ 古賀市内各団体等を対象とした施設研修受け入れ 6団体(130名) <p>③ 委託業者職員に対する研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間業務を委託している業者職員に対する設置経過等の研修の実施(2名) <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まつり古賀環境課ブースにおいて、環境課と共に啓発パネルをクイズ形式にしたことにより、ブース来場者が増えた。 ○ 施設研修を受けた参加者の口コミにより施設研修申し込みがあった。 ○ 古賀市職員へ施設撤去・受入の経緯等について共有化ができた。 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座の申し込みが無かったため、実施できなかった。
2016年度(平成28年度)取組計画	
<p>方向性： 28年度においても、し尿処理情報発信事業として継続し、旧し尿処理施設・新し尿処理施設の撤去受入に関わる課題解決に向けた啓発を実施していく。</p> <p>計画：① し尿処理情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まつり古賀等各種イベントにおけるパネル展示等(処理工程、設置経過、排育等) ○ 公共施設におけるパネル展示等(処理工程、設置経過、排育等) ○ 出前講座の市民への周知方法の工夫 ○ 市内小中学校新任転任管理職施設研修受け入れ ○ 新規採用職員施設研修受け入れ ○ 市内8小学校4年生の施設見学受け入れ ○ 古賀市内外団体等の施設研修受け入れ ○ 海津木苑関係職員の施設に関わる課題解決に向けた研修 	

海津木苑 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

	月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象		内 容	○成果／●課題
1	4月14日	平成27年度新任転任学校管理職教育関連施設視察研修会	海津木苑	新任転任学校管理職(8名)	講話 見学	し尿処理施設「撤去・受入」課題について	○し尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
2	5月25日	平成27年度古賀市新規採用職員人権問題研修	海津木苑	新規採用職員(23名)	施設 見学	し尿処理施設「撤去・受入」課題について	○し尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
3	5月29日	海津木苑設置による啓発に関する協議	鹿部公民館	鹿部区代表者・解放同盟鹿部支部代表者	報告 協議	関係各課啓発取組についての協議	
4	6月17日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	花鶴小学校4年生(82名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
5	6月19日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	舞の里小学校4年生(66名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
6	7月17・21・29日	古賀市職員人権問題前期研修	古賀市役所	古賀市職員(391名)	講話	海津木苑施設経緯及び施設啓発について	○し尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
7	8月7日	海津木苑施設フィールドワーク	海津木苑	桂川町解放子ども会・中学研合同合宿研修会(42名)	講話 見学	海津木苑施設経緯説明及び見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さ及びし尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
8	8月24日	古賀市学校人権教育研究会及び新転任者人権教育連続研究部会	海津木苑	新任転任教職員等(38名)	講話 見学	し尿処理施設「撤去・受入」課題について	○し尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
9	9月4日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	千鳥小学校4年生(49名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
10	9月11日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	花見小学校4年生(91名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
11	9月29日	海津木苑施設フィールドワーク	海津木苑	大宰府市同研会員(行政、学校、市民)(27名)	講話 見学	海津木苑施設経緯説明及び見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さ及びし尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
12	9月25日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	古賀東小学校4年生(70名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
13	10月7日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	小野小学校4年生(87名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
14	10月21日	生涯学習課「お母さんの社会科見学」	海津木苑	市内お母さん方(10名)	施設 見学	し尿処理施設「撤去・受入」課題、「排育」について	○し尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
15	11月5日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	青柳小学校4年生(49名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
16	11月6日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	新宮東小学校4年生(155名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
17	11月15日	まつり古賀「施設啓発パネル展示」	市役所前駐車場	古賀市民外来場者	展示 説明	啓発パネル展示・環境クイズ・施設啓発冊子等配布	○クイズ形式によるパネル展示を行なうことによりし尿処理の仕組みと大切さを発信できた。
18	11月25日	小学4年生「施設見学」	海津木苑	西小学校4年生(62名)	施設 見学	社会科授業に応じた公共施設見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さを発信できた。
19	12月6日	「いのち輝くまち☆こが2015」第1分科会「いただきます」で元気な体をつくろう	リーパズプラザ大ホール	古賀市職員・教職員・市民等	発表	海津木苑施設啓発排育の取り組みについて	○食に深く係わりがある排泄行為の大切さを発信することができた。
20	2月16日	海津木苑施設フィールドワーク	海津木苑	市民建産委員会委員(6名)	施設 見学	海津木苑施設経緯説明及び見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さ及びし尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。
21	3月12日	海津木苑施設フィールドワーク	海津木苑	美咲支部「女性部」(23名)	講話 見学	海津木苑施設経緯説明及び見学	○施設の処理工程・設備機器等を通して施設・排泄の大切さ及びし尿処理施設「撤去・受入」に関わる歴史・経過等の共有化ができた。

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

総務部 総務課・地域コミュニティ室

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果								
<p>1. 行政区長会及び消防団分団長会での研修実施 ・古賀市の人権尊重活動への協力と積極的参加</p> <p>2. 人権問題研修会の積極的実施 ・7月の「同和問題啓発協調月間」の市民のつどいを研修会として位置づけ参加要請を行う。 ・12月の人権尊重週間では実行委員会に参画。 ・行政区長会は「古賀市社会『同和』教育推進協議会」で地区推進部会に所属しており、小学校(8校区)単位で年2回の校区啓発事業に積極的に参加するとともに、市民の参加要請を行います。 ・市民の期待に応えるため、民法等の知識やカウンセリング能力を持った職員配置及び研修を行う。 ・「法律を市民の味方に」の意識を持ち、不当な不利益を受けないよう充実した相談を行うとともに、近年多発している悪徳商法への注意喚起を継続して行って行く。</p>	<p>主な事業内容</p> <p>1、行政区長会研修 2、消防団役員研修 3、市民なんでも相談(市民の暮らしに関する諸問題に対し、助言や相談機関を紹介する等して問題解決を図る。) 4、市政相談(市民の市政に関する苦情・要望等の相談を受け、担当部署に連絡し問題解決を図る。) 5、無料法律相談(法律上の問題を抱えている市民に対し、古賀弁護士センター・むなかた弁護士センター(無料法律相談)を紹介し問題解決を図る。)、消費生活相談センターと連携したセミナー</p> <p>①主な成果(平成27年12月末現在)</p> <table border="0"> <tr> <td>1、市民なんでも相談</td> <td>177件</td> </tr> <tr> <td>2、市政相談</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>3、無料法律相談</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(弁護士センター利用件数 125件)</td> </tr> </table> <p>②人権施策の視点での評価</p> <p>市民の人間関係や環境問題解決のため、実践として市民の暮らしの諸問題、市政に関する苦情・要望等の相談に対して助言や相談機関を紹介する等して問題解決を図るとともに、市民の法律問題等に対しては基本的人権を守り社会正義を実現する使命を帯びた弁護士会と連携して、安全と安心を求める市民の願いに沿った一定の取組ができた。</p>	1、市民なんでも相談	177件	2、市政相談	22件	3、無料法律相談	178件	(弁護士センター利用件数 125件)	
1、市民なんでも相談	177件								
2、市政相談	22件								
3、無料法律相談	178件								
(弁護士センター利用件数 125件)									
2016年度（平成28年度）取組計画									
<p>方向性:</p> <p>人権問題の研修会については、今後も積極的に実施してまいります。 また、7月の「同和問題啓発強調月間」の市民のつどいを研修会に位置づけ参加要請を行うとともに、12月の人権尊重週間では実行委員会に参画しております。 なお、行政区長会は「古賀市社会『同和』教育推進協議会」で地区推進部会に所属しており、小学校(8校区)単位で年2回の校区啓発事業に積極的に参加するとともに、市民の参加要請を行います。 また、消費生活相談センターと連携したセミナーを適宜実施するなど、無料法律相談の充実強化をはかります。</p> <p>計画:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区長会及び消防団分団長会での研修実施。 ・古賀市の人権尊重活動への協力と積極参加。 									

海津木苑設置による啓発の取組結果および取組計画

総務部 総務課

2015年度(平成27年度)取組計画	2015年度(平成27年度)取組結果
<p>○ 男女共同参画週間事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民から募集した「一行詩」を市役所等に展示し、市民へ啓発を行う。 ・ 男女共同参画のつどいを開催 日 時 6月27日(土) 10時～12時 会 場 福岡女学院看護大学 大講義室 内 容 「一行詩」最優秀作品の表彰、「輝き☆KOGAびと」表彰、男女共同参画を推進する市民団体の活動報告及び活動パネル展示、一行詩優秀作品展示、講演、ミニコンサート <p>○ 男女共同参画セミナーの開催。 男女共同参画啓発推進委員と協力し企画・運営、市民へ男女共同参画を推進するため、セミナーを開催(3回)</p> <p>○ 女性の就労をテーマに再就職セミナーを無料職業紹介所と連携し開催。 女性の能力発揮に対する支援として、再就職における、家庭との両立の不安解消、また自分自身に自信をつける、将来について考えるをテーマに開催。</p> <p>○ 職員対象(係長以上の管理職)に、男女共同参画セミナーを開催。 女性の管理職登用、男性の育児休業取得率を上げるには、上司の理解が必須と昨年の職員研修のアンケートでも明らかとなったことから、開催した。</p> <p>○ デートDV教室を古賀竟成館高等学校で開催。</p> <p>○ 男女共同参画市民・事業所意識調査を実施。</p>	<p>○「男女共同参画啓発推進委員」、「こが・新宮翼の会」、「農業女性活動促進事業推進協議会」と、男女共同参画のつどいを開催した。市民から募集した「一行詩」の最優秀作品「輝き☆KOGAびと」の表彰、「自分ブランドで生きる」をテーマに上田あい子氏の講演会を実施。また、会場内で団体活動のパネル展示や農業女性による地元農産物の販売を行った。(参加者137名)</p> <p>○「社会に参画して健康寿命を伸ばそう!」、「輝け☆KOGAサミット2015(全2回)」と題してセミナーを開催した。また、啓発推進委員がまとめた「男女共同参画たより」を作成し啓発紙として市民へ配布した。(参加者延べ172名)</p> <p>○一般社団法人女性労働協会の女性就業支援全国展開事業で、はじめて市内の女性のための再就職セミナー「自分のスタイルを発見しよう!～仕事と家庭の両立と長く働き続けるコツとは～」を桑田真理子講師で開催した。また商工政策課の委託事業である無料職業紹介所を紹介できた。(参加者33名)</p> <p>○「イクボスが組織を変える社会を変える」について人事課と共催で研修を行った。市長イクボス宣言行う(市長ブログ掲載)。講師は、九州ファザリングジャパン理事の小津智一氏(参加者87名)</p> <p>○「デートDVってなあに?」福岡ジェンダー研究所倉富史枝講師で開催。(参加者全校生徒約600名)</p> <p>○ 市民2000人、事業所1000社を対象に8月1日～20日に調査。結果は28年度に公表。</p>
2016年度(平成28年度)取組計画	
<p>【方向性】 第2次古賀市男女共同参画計画、古賀市男女平等をめざす基本条例を基に、男女が互いにその人権を尊重し、共に責任を担い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざして、あらゆる機会を通して、啓発を行っていく。また、平成28年4月女性活躍推進法が施行されることから女性の活躍推進の支援を進めていく。</p> <p>【実施計画】 第2次古賀市男女共同参画計画後期実施計画を策定する。また昨年8月に「女性の職業生活に関する活躍の推進に関する法律」が制定され、平成28年4月より女性活躍推進法が施行されることから、「市町村推進計画」を導入予定である。男女共同参画のつどいの10周年として6月に男女共同参画フォーラムを開催する。女性活躍推進法が施行されることから、女性の活躍を推進するために、女性の起業・就労・キャリアアップ等への支援として本年度は起業等のセミナーを開催しニーズ調査をする。</p>	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

総務部 経営企画課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>方向性:人権問題の講演会など、市民に興味をもってもらい、親しみと共感が得られ、分かりやすい広報記事を心がける</p> <p>①計画:・各担当課との連携の上、広報こがにおいてヒューマンライツを含む人権問題啓発記事を年12回を目標に掲載する</p> <p>・広報、行事予定表、市ホームページなどの情報媒体を通じて、幅広く人権問題記事を掲載する</p>	<p>○人権問題を市民に考えてもらうため、広報こがでヒューマンライツを毎月掲載した。</p> <p>○広報こが12月号でヒューマンライツ200回として、同和問題をテーマとした人権教育の大切さについて担当課と連携して特集記事を掲載した。</p> <p>○広報こが、行事予定表、市ホームページなどの情報媒体を通じて人権に関するイベントや相談などを告知した。</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>方向性:より幅広い分野で人権をテーマとした啓発記事を掲載する。</p> <p>①計画:・広報こが「ヒューマンライツ」の年間掲載計画を作成して、より啓発につながる紙面づくりをめざす。</p> <p>・さまざまな情報媒体を通じて幅広く人権に関する情報周知を行う。</p>	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

総務 部 人事 課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>方向性： 継続的な職員研修に取り組むことにより、職員それぞれが人権施策基本指針に基づく基本理念を踏まえた人権意識の高揚を図る。 個別の人権問題の解決のための取組みを職員が共有し、積極的に行うことができるようになるため、職員人権研修企画推進委員会においてテーマを定め、計画的に人権研修を実施し、人権課題の共有を図る。</p> <p>計画 <input type="checkbox"/> 職場研修（前期研修・後期研修） <input type="checkbox"/> 新規採用職員研修 年1回 <input type="checkbox"/> 派遣研修 年12回 <input type="checkbox"/> その他（市町村職員研修所・関係機関研修） <input type="checkbox"/> 職員の人権意識調査方法の検討</p>	<p>主な成果 <input type="checkbox"/> 職場研修 年2回（職員人権研修企画推進委員会により企画） 前期研修では、全職員を対象に、「古賀市における同和問題解決に向けてのこれまでの経過、取り組み内容」をテーマとし、清原留夫氏を講師として研修を実施した。 また、海津木苑設立経緯について、海津木苑職員による説明を実施した。 後期研修では、「身近な生活を通して差別意識を考えましょう」を共通テーマとして、各職場ごとに職場討議形式による研修を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規採用職員人権研修 年1回 <input type="checkbox"/> 派遣研修 年9回 <input type="checkbox"/> その他（市町村職員研修所・関係機関研修） <input type="checkbox"/> 職員の人権意識調査方法の検討 前期研修後の職員アンケートの項目を追加して意識調査を実施。</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>方向性： 継続的な職員研修に取り組むことにより、職員それぞれが人権施策基本指針に基づく基本理念を踏まえた人権意識の高揚を図る。 個別の人権問題の解決のための取組みを職員が共有し、積極的に行うことができるようになるため、職員人権研修企画推進委員会においてテーマを定め、計画的また、継続的に人権研修を実施し、人権課題の共有を図る。</p> <p>計画 <input type="checkbox"/> 職場研修（前期研修・後期研修） <input type="checkbox"/> 新規採用職員研修 年1回 <input type="checkbox"/> 派遣研修 年12回 <input type="checkbox"/> その他（市町村職員研修所・関係機関研修）</p>	

平成27年度 職員人権問題研修【実績】

H28.3.25 現在

項目	内 容			
職場研修会	実施時期・期間	テーマ	参加者数	備考
前期職場研修 (講演会)	7月17日 21日 29日	第1部 テーマ:古賀市における同和問題解決 に向けてのこれまでの経過、 取組内容 講師:清原 留夫氏 第2部 テーマ:海津木苑設立経緯 講師:海津木苑職員 場所:市役所大会議室、サンコスモ	400 人	任期付、嘱託、 臨時職員含む
後期職場研修 (課内討議)	1月～3月	職場討議	386 人	任期付、嘱託、 臨時職員含む
		小計	786 人	
新規採用職員研修	実施時期・期間	テーマ	参加者数	備考
庁内講師講義	5月25日	海津木苑、隣保館設立の経緯・施設見学 人権センターの仕事・人権意識について	23 人	H27年度新採職員
派遣研修	実施時期・期間	テーマ	参加者数	備考
		人権社会確立第35回全九州研究集会(H27.5.26-27 熊本市)	6 人	
		第40回部落解放・人権西日本夏期講座(H27.6.25-26 岡山市)	2 人	
		第56回福岡県人権・同和教育夏期講座(H27.8.4 福岡市)	2 人	
		福岡教育事務所管内人権・同和教育研修会(H27.6.5 福岡市)	7 人	
		第56回福岡県人権・同和教育夏期講座(H27.8.4 福岡市)	3 人	
		第42回九州地区人権・同和教育夏期講座(H27.8.18-19 佐世保市)	2 人	
		部落解放研究第49回全国集会(H27.11.10-12 別府市)	4 人	
		部落解放人権政策確立要求中央集会(H27.5.20 東京)	2 人	
		全国人権保育研究集会(H28.1.30-31 高知市)	1 人	
		小計	29 人	
その他	実施時期・期間	テーマ	参加者数	備考
新規採用職員研修	前期	(福岡県市町村職員研修所)	15 人	
新規採用職員研修	後期	(福岡県市町村職員研修所)	15 人	
一般職員1部研修		(福岡県市町村職員研修所)	6 人	
一般職員2部研修		(福岡県市町村職員研修所)	7 人	
一般職員3部研修		(福岡県市町村職員研修所)	9 人	
新任係長研修		(福岡県市町村職員研修所)	13 人	
新任課長研修		(福岡県市町村職員研修所)	5 人	
		第35回古賀市同和問題を考える市民の集い(7月4日)	140 人	嘱託員等含む
		いのち輝くまち☆こが2015(12月6日)	180 人	
		小計	390 人	
			人	
		合計	1228 人	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

保健福祉部 子育て支援課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>児童福祉法に基づき、児童の最善の利益を保障していくため、地域性や保育ニーズを考慮しながら、安心して子育てできる環境整備と保護者支援に取り組む。</p> <p>1. 保育所保育指針に基づき、人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う保育に取り組む。</p> <p>①人権保育の取り組みについては、引き続き取り組んでいく。</p> <p>②家庭と保育所とが一体となって子育てを行っていくことを心がけ、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、「家庭への便り」等を通して啓発を行っていく。</p> <p>2. 保育所保育指針に基づき、生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培っていく。</p> <p>③集団づくり・人権・いのち・労働・食育・し尿処理施設や環境問題等、これまでに保育教材化したものを、「人権に関する教材」として多方面で活用できるよう常に見直ししながら、保育所間・職員間で共有を図り積極的に有効利用していく。</p> <p>④公立保育所が毎月発行している「園便り」を有効活用し、より具体的かつ有効な子育て支援情報を発信していく。</p> <p>3. 入所する児童の保護者等に対し、その意向を受け止め、児童と保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かしてその援助に当たる。</p> <p>⑤子育てに関する悩みや生活上の困難な問題など、気軽に相談できる窓口を常に開放し、適切なアドバイスや相談内容に合った的確な情報を提供するとともに、専門機関へつなぐ等の具体的な援助について、子育て支援課と緊密な連携を図りつつ取り組んでいく。</p> <p>4. 乳幼児期からの母子支援と虐待予防・防止・早期発見・支援の取組、およびその他様々な課題を抱えた児童・親支援を積極的に行う。</p> <p>⑥要保護児童対策地域協議会では、関係機関に対し児童福祉法に基づく協議会設置の趣旨・目的を再確認するとともに、連携を強化し多様化する問題・課題の解決及び支援事業に取り組む。</p> <p>⑦乳児家庭全戸訪問事業では、母子の健康と育児不安の軽減、父親の育児参加を推奨する。また、家庭での問題や子育て相談等については、必要に応じて関係機関につなぐなどの支援を行う。</p> <p>⑧つどいの広場では、利用者からの相談、または気になる子や保護者に声をかけ、継続して子育て支援に取り組んでいく。</p> <p>⑨虐待防止を目的とした、子どもとのコミュニケーションの方法や効果的なしつけのテクニックを学習するCSP（コモンセンス・ペアレンティング）講座の開催に取り組む。また、CSPの内容を定期的に広報こがに連載し、啓発を行う。</p>	<p>① 家庭への便りを通して保育の中での取組を保護者に伝えることや、子どもたちの気付きを大事にする取組を継続する中で、豊かな感性が生まれ、言葉や行動のなかに現れるようになった。</p> <p>② 保育所での取組内容を具体的に「家庭への便り」を通して伝えていく中で、保護者からの反応も見られ、家庭の中でも保護者が子どもと向き合っていくとする意識の醸成につながっていった。</p> <p>③ 年齢に合わせた人権保育について、「仲間づくり」「命の大切さ」「食べ物大切さ」「からだの話」「うんちくんのたび」等の様々な教材を活用し、共通認識を持ってすすめることができた。</p> <p>④ 毎月発行している「園だより」のほか、「親力・子力」シリーズを発行し、子育てについての様々な情報を発信するなどして、保護者啓発に努めた。</p> <p>⑤ 保育所保育指針第6章において「子育て等に関する相談や助言に当たっては、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基本に、保護者一人一人の自己決定を尊重すること」とあるように、保護者の話に耳を傾け受容し、相談の内容に合った情報の提供を行ったり、家庭支援係や専門機関につなげるなど、保護者支援に取り組んだ。</p> <p>⑥平成27年度においては、6月29日、2月29日に協議会代表者会を行い、関係者に対し、事業の趣旨・目的等を説明するとともに、関係機関の実務者で構成される5つの実務者会議においては、計37回の会議を開催した。また、更なる協議会の効果的、効率的な運営を行うため、運営協議会を立ち上げ、実務者レベルで検討し、平成28年度から実施することを確認した。実務者会議では、関係機関が互いに連携しながら、虐待を受けている子どもをはじめとする、様々な支援が必要な児童・家庭に対する支援に取り組んだ。</p> <p>⑦乳児家庭全戸訪問は、ほぼ100%の訪問率であり、訪問時には、母親の不安や悩みを引き出し、それを受け止め、ともに寄り添いながら問題解決に向けてのアドバイスや支援を行っている。</p> <p>⑧つどいの広場『でんでんむし』においては、1日平均約24組の親子の利用があり、開設時間中、随時子育てに関する色々な相談を電話・面談で受けている。近年、母親の精神不安からくる育児不安についての相談が増えてきており、相談者とコミュニケーションをとりながら、話しやすい雰囲気を作りながら相談へとつないでいる。また、必要に応じ、保健師・栄養士等と連携をとることでより明確な助言も行っている。</p> <p>⑨CSP（コモンセンス・ペアレンティング）という虐待防止のプログラムを用い、子どもとのコミュニケーションの方法や効果的なしつけのテクニックを学習する講座を通常講座として2クール開催した。計11人の保護者が参加した。また、同プログラムの内容を「広報こが」において、定期的に連載し、周知を行った。</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>児童福祉法に基づき、児童の最善の利益を保障していくため、地域性や保育ニーズを考慮しながら、安心して子育てができる環境整備と保護者支援に取り組む。</p> <p>1. 保育所保育指針に基づき、人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う保育に取り組む。</p> <p>①人権保育の取り組みについては、引き続き取り組んでいく。</p> <p>②家庭と保育所とが一体となって子育てを行っていくことを心がけ、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、「家庭への便り」等を通して啓発を行っていく。</p> <p>2. 保育所保育指針に基づき、生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培っていく。</p> <p>③集団づくり・人権・いのち・労働・食育・し尿処理施設や環境問題等、これまでに保育教材化したものを、「人権に関する教材」として多方面で活用できるよう常に見直ししながら、保育所間・職員間で共有を図り積極的に有効利用していく。</p> <p>④公立保育所が毎月発行している「園便り」や「親力・子力」を有効活用し、より具体的かつ有効な子育て支援情報を発信していく。</p> <p>3. 入所する児童の保護者等に対し、その意向を受け止め、児童と保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かしてその援助に当たる。</p> <p>⑤子育てに関する悩みや生活上の困難な問題など、気軽に相談できる窓口を常に開放し、適切なアドバイスや相談内容に合った的確な情報を提供するとともに、専門機関へつなぐ等の具体的な援助について、子育て支援課と緊密な連携を図りつつ取り組んでいく。</p> <p>4. 乳幼児期からの母子支援と虐待予防・防止・早期発見・支援の取組及びその他様々な課題を抱えた児童・親支援を積極的に行う。</p> <p>⑥要保護児童対策地域協議会では、関係機関に対し児童福祉法に基づく協議会設置の趣旨・目的を再確認するとともに、連携を強化し多様化する問題・課題の解決及び支援事業に取り組む。</p> <p>⑦乳児家庭全戸訪問事業では、早期に母子の健康と育児不安を軽減し、気になる家庭については、関係機関につなぐなどの支援を行う。また、IPPO（いっぽ）事業では、生後6カ月までの初めての子育てをする母親の育児不安や孤立感を軽減するよう事業を拡大し実施していく。</p> <p>⑧つどいの広場では、利用者からの相談、または気になる子や保護者に声をかけ、継続して子育て支援に取り組んでいく。</p> <p>⑨虐待防止を目的とした、子どもとのコミュニケーションの方法や効果的なしつけのテクニックを学習するCSP（コモンセンス・ペアレンティング）講座の開催に取り組む。また、CSPの内容を定期的に広報こがに連載し、啓発を行う。</p>	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

保健福祉部福祉課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
○民生委員・児童委員を対象とした人権研修を実施する。研修内容については、民生委員役員会と協議の上決定する。	○主な事業内容(様式②参照) 平成27年11月26日(木)13:30～14:30(民生委員・児童委員協議会11月定例会にて実施) 会場(サンコスモ古賀201・202研修室)
○サンコスモ古賀内の事業所の従事者(社会福祉協議会、訪問看護ステーション、空調、清掃、警備委託業者)を対象に研修を実施する。研修方法、日程等については、古賀市社会「同和」教育推進協議会と調整のうえ決定する。	○サンコスモ古賀内事業所の従事者等に対する人権研修 古賀市社会「同和」教育推進協議会が主催する「みんなの人権セミナー」全6回 第35回古賀市同和問題を考える市民の集い いのち輝くまち★こが2015のうち1回以上参加する。
2016年度（平成28年度）取組計画	
○民生委員・児童委員を対象とした人権研修を実施する。研修内容については、民生委員役員会と協議の上決定する。 ○サンコスモ古賀内の事業所の従事者(社会福祉協議会、訪問看護ステーション、空調、清掃、警備委託業者)を対象に研修を実施する。研修方法、日程等については、古賀市社会「同和」教育推進協議会と調整のうえ決定する。	

月日及び期間	啓発等名称	場所	対象	内容	○成果／●課題		
① H27.11.26	民生委員・児童委員協議会 人権研修	サンコスモ古賀20 1・202研修室	民生委員・児童委員	女性の人権について	参加者数:58名 ○母子家庭を中心に話があったが、父子家庭の場合をもっと大変だと思う。母子を父子に置き換えて考えた話もあって良かった。 ○親と子の人権を守らなければならない。 ●今後は、いじめに関する講習を聞いてみたい。 ○今まで、知らなかった事が多かった。知れば知るほど人権について話し合う必要があると感じた。		
みんなの人権セミナー受講					参加者数:社会福祉協議会45人、訪問看護ステーション13名、まつぼっくり食堂1名、空調運転業務委託業者2名、合計61名。		
② H27.8.1	サンコスモ古賀内事業所の従 事者等に対する人権研修	サンコスモ古賀20 1・202研修室	社会福祉協議会 訪問看護ステーション まつぼっくり食堂 清掃委託業者 空調委託業者 警備委託業者	①精神障害者とその家族の生活—偏見と差別の中 で生きる実態— 川崎洋子	○地域社会の理解や病院の開放性、当事者・家族の隠さない生き方が必要である事が分かりました。偏見や差別がなくなり、助け合える地域社会にしていかなければと思いました。 ○この講演で精神障がい者とその家族の置かれている状況を知る事ができた。まだまだ、周囲の理解や行政サービスが低いのが現状である。 ○精神障がい者について正しく理解されていない事が偏見を生んでいる。周囲の見守りと正しく理解する事が重要である事が分かった。地域から孤立させない為にも、病気のこと、その取り巻く環境や症状におびえることなく、寄り添う支援が必要である。 ●精神障害は、とても身近な疾患であると思った。目に見えない病気の為、他者が理解するのが難しい。また一般の人が精神障害について学ぶ機会も少ない為、理解が進んでいない。		
③ H27.9.19		サンコスモ古賀20 1・202研修室		②多様な”私たちの性”—知っていますか？20人 に1人いるLGBTのこと— 眞野豊	○「性はグラデーション」という言葉が印象に残った。性の多様性を子どもの頃から教育し、それを個性だと理解できるようになると差別や偏見がなくなるのではないかと思う。 ●性的少数者に関する情報を広め、多くの人が知識を付け、「当事者に対する差別や偏見は社会問題」だということを理解しなければならない。差別をなくすには、大人が正しい知識・価値観・情報を持って子ども達に教育していく事が必要であると感じた。 ○性同一性障害などという言葉は聞いた事がありましたが、今回正しい知識を得ることが出来ました。 ○差別は、していないつもりではあるが、それが出来ているかは、不明である。正しい知識を持って、社会の問題に向き合えるようになりたい。		
④ H27.10.3		福岡県筑前町		③人権フィールドワーク—真の平和について学ぼう—	参加者なし		
⑤ H27.11.14		サンコスモ古賀20 1・202研修室		④犯罪被害に遭って思うこと 宮元篤紀	○突然の被害を被られ、関係者の経済的負担や家族の生活設計が一瞬にして失われた事が想像もつきません。人の命の尊厳を見つめ直して「自分の命」を意識することで、自分の命・周りの人の命の大切さを深く感じる事ができました。		
⑥ H27.12.6		リーパスプラザ大 会議室		⑤《いのち輝くまち★こが2015特別講座》竹田 の子守唄～名曲に隠された真実～ 藤田正	○同和問題については、「寝た子を起こすな」といわれるが、人として、なぜ、差別が行われたのか、その解決にどのような努力をしたのかしっかりと学び二度と同じ事にならないように努力していくかが大切だと感じました。 ○講師の話から、自分がいかに同和問題に対し無知・無関心が差別を作るかが良く分かりました。		
⑦ H28.1.24		リーパスプラザ大 ホール		⑥「うまれてきてくれてありがとう」mon	雪の為中止:受講予定者43名		
⑧ H27.7.4		古賀北中学校体 育館		第35回古賀市同和問題を考える市民のつどい 「橋はかかる」～被差別部落に生まれ育って～ 村崎太郎	○常に偏見を持って見られている事実が、今も変わらない事に、同和問題の奥深さを知った。 ○困難という逆境を力にし、正々堂々と生きる思いに感動した。一人の人間を一人の人間が救うことを念頭に自分自身が周囲に流されず、自分の考えをしっかりと持とうと思った。 ○知らない事が人権問題の解決を遅らせていると感じた。 ○「無視すること、無関心ということが全ての差別につながる」と話されたが、とても心に残った。 ○この講演で、生まれた場所で人生が決まってしまうことを改めて知った。このことが、どんなに辛く、残酷であるかを気付かなければならない。その為、人と人との人権を尊重しつつ、謙虚な気持ちでだれとでも接していかなければならず、この講演で人と人との接し方の難しさを学んだ。		
⑨ H27.12.6		サンコスモ古賀内事業所の従 事者等に対する人権研修		リーパスプラザ大 ホール	社会福祉協議会 訪問看護ステーション まつぼっくり食堂 清掃委託業者 空調委託業者 警備委託業者	第38回古賀市人権を尊重する市民の集い 《いのち輝くまち☆こが2015》キッチンから始まる 家族の絆 コウ・ケンテツ	○国や文化・言葉が違っても一緒に食卓を囲み調理を行ったりで多くの笑顔と絆が生まれる。消費率が下がっている野菜をたくさん利用し、家族・また次の世代へ我が家の味を伝えて生きたいと思えます。 ○人権作文発表は小4から高校生までの子供の素直さ、優しさに感動しました。こんな子供がたくさん育ったらこれからの日本は安心だと感じました。 ○「食」は家族だけではなく、近所の人や、人種・国籍を超えてつながる事ができる物だと学んだ。 ○世界では、民族の違い、宗教の違いにより各地でテロや紛争が起こっているが、お互いの食べ物を認め、思いやる心があれば争いごとはなくならないと話されていたのが印象的でした。

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

保健福祉部 隣保館

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>方向性： 『人権と福祉のまちづくり』の住民交流拠点となる開かれた隣保館として、これまで隣保館が行なってきた隣保事業(人権と福祉のまちづくり)等を全市民対象に広報紙・隣保館だより等で発信すると共に、隣保館「ひだまり館」交流スペースを有効活用し来館者へ更なる工夫を凝らした人権啓発等の情報発信(パネル展示等)を行い、「行政」・「市民」協働であらゆる人権課題の早期解決を目的とし啓発を行う。</p> <p>計 画： ○隣保館だより1回/年発行。 ○館内利用者向人権啓発大型パネル作成・展示。 ○地域周辺の高齢者等を対象に生き生き音楽校を実施(3箇所)すると共に、参加者を通し地域コミュニケーションの活性化を図る。 ○人権啓発につながる地域交流会を企画開催(1回/年)予定。〔ひだまり館まつり〕 ○人権平和をテーマとして夏休み人権平和教室を開催。 ○国際理解をテーマとして人権教室を開催。 〔大人向け⇒20回×1コース〕〔児童生徒向け⇒5回×2コース〕 ○経済的に厳しい世帯の児童(中学生)を中心に据え、家庭学習・社会体験を中心とした支援事業の開催。</p>	<p>○隣保館だより1回/年発行。 ○館内利用者向人権啓発大型パネル作成・展示。 ○地域周辺の高齢者等対象に「生き生き音楽校」3箇所実施。 ○人権啓発につながる地域交流会を企画開催(1回/年)。 ・『ひだまり館まつり』を開催(参加者約150名) ・今年度については、健康福祉まつりと同日開催することで、これまで「ひだまり館」の事業等を知らなかった市民へも事業等の啓発が実現できた。 ○夏休み期間小学生を対象に、じんけん平和教室を開催。長崎被爆体験者や福岡大空襲体験者からの講話を聞くなどし、戦争をとおり「命」の大切さを学ぶ。長崎フィールドワークについては、スタンドアローン参加中学生も参加し、小中交流も実現できた。 ○国際理解をテーマとして人権教室を開催。 〔大人向け⇒21回×1コース〕韓国語を通じ、文化・歴史等を同時に学習。 〔小学生向け⇒5回×2コース〕福岡国際交流センターの指導員を迎え「ひだまりパスポート」と称し、人権教室を開催。 ○「ひだまり館まつり」に於いて、「じんけん平和教室」の子どもたちが活動した内容等をパネル作成し、特設ブースに展示。 ○経済的に厳しい世帯の中学生を中心に据え、家庭学習を中心とした支援事業の開催。(77回/年)</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>方向性： 『人権と福祉のまちづくり』の住民交流拠点となる開かれた隣保館として、これまで隣保館が行なってきた隣保事業(人権と福祉のまちづくり)等を全市民対象に広報紙・隣保館だより等で発信すると共に、隣保館(ひだまり館)交流スペースを有効活用し来館者へ更なる工夫を凝らした人権啓発等の情報発信(パネル展示等)を行い、「行政」・「市民」協働であらゆる人権課題の早期解決を目的とし啓発を行う。</p> <p>計 画： ○隣保館だより1回/年発行。 ○館内利用者向人権啓発大型パネル作成・展示。 ○地域周辺の高齢者等を対象に「生き生き音楽校」(3箇所)を実施すると共に、参加者を通し地域コミュニケーションの活性化を図る。 ○人権啓発につながる地域交流会を企画開催。〔ひだまり館まつり〕(1回/年) ○人権平和をテーマとして夏休み「じんけん平和教室」を開催。 ○国際理解をテーマとして人権教室を開催。〔大人向け⇒21回×1コース〕(韓国文化講座)・〔児童生徒向け⇒5回×2コース〕(ひだまりパスポート) ○経済的に厳しい世帯の児童・生徒を中心に据え、市内全中学生を対象に、学習を中心とした支援事業(スタンドアローン支援事業)の開催。</p>	

隣保館 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
3月15日～4月30日	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	人権福祉教室視察研修の様子紹介	○隣保館内で人権啓発パネルを展示することにより、パネルを通じ人権課題解決に向けた様々な会話が来館者と出来た。 ●啓発パネルの内容充実
5月1日～7月31日	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	さまざまな人権課題解決に向けた人権展	
8月1日～9月15日	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	原爆と人間展	
9月16日～1月16日	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	さまざまな人権課題解決に向けた人権展 (ドリームステージ体験者による人権啓発パネル展示)	
8月20日～3月31日 (10月16日)	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	じんけん平和教室の様子紹介 (ひだまり館まつりでコーナー設置)	
1月17日～2月29日	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	子どもの人権とフェアトレード展	
3月1日～	人権啓発パネル展示	ひだまり館	来館者	3.11大震災を風化させない人権展	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

建設産業部 農林振興課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>【粕屋農業協同組合】</p> <p>5月 東啓協研修会出席</p> <p>7月 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会出席</p> <p>11月 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会出席</p> <p>2月 全体職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「JAだより」に掲載 ・事業所にポスターを掲示 ・チラシ、リーフレット、パンフレット等の配布 ・セクシャルハラスメントの相談、苦情窓口を職場内に設置 ・公正採用選考人権啓発推進委員設置 	<p>【粕屋農業協同組合】</p> <p>5月15日 東啓協研修会 1名参加 (講演「職場のハラスメント対応と近時の課題」)</p> <p>7月23日 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会 11名参加 (映画「障害のある人とのふれあいと人権」) (講演「共に生きる社会を目指して～報道現場からの報告～」)</p> <p>9月24日 東啓協理事会 全体研修会アンケート集約結果について 1名参加</p> <p>10月26日 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会 8名参加 (映画「秋桜の咲く日」) (講演「障害者権利条約と差別解消法から共生社会へ」)</p> <p>12月 3日 東啓協「事業主のための人権セミナー」 1名参加 (講演「男女共同参画社会とは～1人ひとりの人権が尊重される社会をめざして～」)</p> <p>2月20日 全体職員研修 189名参加 (DVD「私が私らしくあるために～職場のコミュニケーションと人権～」)</p> <p>【感想】・信頼関係の一つ一つ積み重ねが大事 ・'仕事'に対する意欲や温度差がある。 改めて職場の雰囲気と思いやりが重要だと感じた ・仕事上、自分の意見やできる 事できない事を伝えることが大切と感じた。職場の良い雰囲気作りのためにメリハ リをつけて仕事をしたい ・コミュニケーションの大切さをもう一度考える ・何事も 相手の立場になって考えたい</p> <p>2月29日 JAグループ福岡 人権・同和問題啓発研修会 1名参加 (映画「人権のヒント～『思い込み』から『思いやり』へ～」) (講演「人権・同和問題をとりまく現状と課題について」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報紙「JAだより」に掲載 (1回) ・事業所にポスターを掲示 (2回) ○チラシ、リーフレット、パンフレット等の配布 (1回) ○セクシャルハラスメント防止の取り組み 対応マニュアルの策定、広報・チラシ等の啓発、就業規則への懲戒規定、 相談・苦情窓口を職場内に設置 ○公正採用選考人権啓発推進委員設置
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>【粕屋農業協同組合】</p> <p>5月 東啓協研修会出席</p> <p>7月 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会出席</p> <p>11月 農山漁村地域人権問題啓発推進研修会出席</p> <p>2月 全体職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「JAだより」に掲載 ・事業所にポスターを掲示 ・チラシ、リーフレット、パンフレット等の配布 ・セクシャル・ハラスメントの相談・苦情窓口を職場内に設置 ・公正採用選考人権啓発推進委員設置 	

※東啓協とは、ハローワークで組織する「福岡東地区公正採用選考人権啓発推進委員連絡協議会」の略称です。

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

建設産業部 商工政策課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>方向性:研修内容を充実することにより、企業相互の連携を深め、企業内の人権に対する理解を深める。</p> <p>計画:他部署や他機関と連携を図りながら、研修等を実施していく。</p> <p>○古賀市企業内人権・同和問題研修推進員会議の取組</p> <p>5月 総会 6月 役員会 7月 同和問題啓発強調月間の取組 役員研修会 8月 全体研修会 12月 人権尊重週間の取組 2月 全体研修会</p>	<p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月17日 第4回古賀モノづくり博「食の祭典」における海津木苑の啓発 ・5月27日 企同推総会(役員選出・会則変更など) ・6月25日 役員会及び役員研修会「企業に関わる人権問題について」 ・7月3日 同和問題啓発強調月間街頭啓発 ・7月4日 第35回古賀市同和問題を考える市民のつどいへの参加 ・8月31日 全体研修 講演「“あたりまえ”を見直してみましよう」 ・12月4日 人権尊重週間街頭啓発 ・12月6日 いのち輝くまちこが2015への参加 ・2月26日 全体研修 講演「同和問題をはじめとする人権問題」 施設見学 福岡県人権啓発情報センター <p>主な成果</p> <p>研修会や施設見学等を通し、企業内における人権への問題意識を高めることができ、今後に役立つ効果があった。</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>・平成27年度の実施内容を踏まえ、推進員の出席率の向上や研修内容の充実を図るよう他部署や他機関と連携し、研修等を実施していく。</p>	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

建設産業部 水道課・下水道課

2015年度（平成27年度）取組計画 <水道課>	2015年度（平成27年度）取組結果 <水道課>
<p>方向性：市内に事業所を置いている建設業者等の事業主及び従業員の方々を対象とし、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題について理解・知識を深める。</p> <p>計 画：市内の建設業者等・企同推加入業者・市職員等を対象に、8月下旬を実施時期として、講師による人権テーマとして研修会を開催。</p>	<p>建設業者等「同和」問題研修会を以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成27年8月31日 14:00～16:00 ・場所 市役所第2庁舎5階501・502・503会議室 ・内容 「あたりまえ」を見直してみましよう ・講師 笠原 清範 氏 ・参加者数 95名 (建設業者等27名、企同推18名、宅建4名、市職員46名) <p>○アンケート結果（よくわかった24人、おおむねわかった37人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の差別の成り立ち（歴史）が良く理解できた。 ・身近な例から問題提起されていたので、分かりやすかった。 <p>○本年度は、宅建業者にもご参加いただくことができた。</p>
2016年度（平成28年度）取組計画 <下水道課>	
<p>方向性：市内に事業所を置いている建設業者等の事業主及び従業員の方々を対象とし、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題について理解・知識を深める。</p> <p>計 画：市内の建設業者等・企同推加入業者・市職員等を対象に、8月を実施時期として、講師による人権テーマとして研修会を開催予定。</p> <p>担当課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 水道課 ・平成28年度 下水道課 ・平成29年度 都市計画課 ・平成30年度 農林振興課 ・平成31年度 商工政策課 ・平成32年度 建設課 	

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

教育部

学校教育 課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<ol style="list-style-type: none"> 1 古賀市新転任者(教職員)人権・同和教育研修会の開催及び古賀市新転任管理職(校長・教頭)施設視察研修会の開催 2 古賀市教育委員会主催研修会の開催及び教育関係機関等事業への参加通知と掌握 <ul style="list-style-type: none"> ○校長人権・同和教育研修会 ○教務担当主幹教諭・教務主任研修会 ○児童生徒支援担当者研修会 ○各中学校区における人権教育副読本活用授業研修会 ○古賀市小・中学校全員研修会 ○小・中学校校長人権・同和教育研修会 ○小・中学校教頭人権・同和教育研修会 ○人権・同和教育担当者研修会 等 3 古賀市要保護児童ネットワーク会議(学童支援部会・問題行動部会)の実施 4 古賀市適応指導教室・少年センター連絡会議の実施 5 古賀市校区連絡協議会代表者会議の実施 6 古賀市高等学校等中途退学問題調査研究会議の実施 7 各校における人権教育に関する授業研究会の実施 8 各校における人権フェスタの実施 9 標準学力調査及び古賀市学力向上推進会議の実施 10 体力向上推進会議の実施 11 若年教師人権・同和教育研修会 	次ページ別紙参照
2016年度（平成28年度）取組計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 古賀市新転任者(教職員)人権・同和教育研修会及び古賀市新転任管理職(校長・教頭)施設視察研修会の開催 2 古賀市教育委員会主催研修会の開催及び教育関係機関等事業への参加通知と掌握 3 古賀市要保護児童ネットワーク会議(学童支援部会・問題行動部会)の実施 4 古賀市適応指導教室・少年センター連絡会議の実施 5 古賀市校区連絡協議会代表者会議の実施 6 古賀市高等学校等中途退学問題調査研究会議の実施 7 各校における人権教育に関する授業研究会の実施 8 各校における人権フェスタの実施 9 標準学力調査及び古賀市学力向上推進会議の実施 10 体力向上推進会議の実施 11 若年教師人権・同和教育研修会 12 教育懇談会の実施 	

2015年度(平成27年度)取組結果

○成果

・年度当初、古賀市小・中学校人権・同和教育研修会を新転任教職員対象に行ったり、海津木苑や隣保館等の古賀市内教育関連施設視察研修を新転任管理職を対象に実施したりしたことで、古賀市における人権教育課題について理解を深めることができた。

・年間32講座、計79の古賀市教育委員会主催研修会を開催したことは、市雇用講師を含め市内教職員に対し、人権尊重の視点を基本に据えた資質の向上や人権感覚を磨く上で大変効果的だった。

・中学校区連絡協議会合同研修会において、学力を総合学力として捉え直し、子どもの人権尊重の視点に立った授業づくりを積極的に進め、学力保障をしていく研修ができた。

・中学校区ごとに年1回ずつ校区独自の人権教育副読本(「いのちのノート」等)を活用した授業研修会を実施したことで、その効果的活用と来年度のに向けた見直しを確実に行うことができた。

・子育て支援課、適応指導教室、少年センター等との関係機関と連携して各中学校区ごとに年各3回の問題行動部会と学童支援部会を実施したことで、情報の共有化、不登校・問題行動等の早期発見、早期対応につながった。

・高等学校等中途退学問題調査研究会議の参加者を各中学校区の代表小学校長にも広げ、小・中・高連携のもと中途退学防止に向けた取組の共有化を進め、また、経済状況によって進学できない状況がないか情報把握することことができた。

・各校における人権をコンセプトにしたフェスタやヒューマンスクール等の実施は、地域や保護者を巻き込んだ人権啓発を行う上で効果的だった。

・体力向上プロジェクト会議や学力向上推進会議の実施は、市内小・中学校で共通して取り組む内容の構築と改善に向けた取組の工夫を行う上で効果的だった。

・古賀東中学校の取組を、九同教大会と全人教大会で報告し、意見交換や発表原稿づくり等に関わることで教職員の人権・同和教育を推進する意識が高まった。

●課題

・人権啓発・学力向上・学校適応促進をさらに図るべく、校区連絡協議会の取組を活性化させる。

学校教育	課
------	---

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

月日及び期間	啓発等名称	場 所	対 象	内 容	○成果／●課題
1 4月3日	古賀市新転任者(教職員)人権・同和教育研修会	古賀市役所大会議室	平成27年度古賀市に赴任した教職員	古賀市学校教育施策とこれからの人権・同和教育について(講師:学校教育課長・指導主事)	○平成27年度古賀市学校教育施策推進構想及び古賀市人権教育推進構想等について理解し、古賀市の教育施策に沿った人権教育の考え方・進め方について理解を深め、古賀市の教職員としての自覚を深めることができた。
1 4月14日	古賀市新転任者管理職(校長、教頭)施設視察研修会	隣保館「ひだまり館」・海津木苑、青少年総合センター、給食センター	平成27年度古賀市に赴任した校長・教頭	海津木苑施設の概要と「同和」問題研修、施設見学	○市内の教育関連施設を視察することにより、古賀市に赴任した管理職にとって本市の教育課題について理解を深めることができた。
2 6月8日	市教育委員会主催研修会【小中学校長研修会】	古賀市役所会議室	市内小・中学校の校長	人権・同和教育と古賀市の現状(講師:青木委員長)	○古賀市の歴史と現状について理解を深め、校長として人権教育に基づいた経営実践力を培うことにつながった。
2 6月15日	市教育委員会主催研修会【教務担当主幹教諭・教務主任研修会】	古賀市役所会議室	市内小・中学校の教務担当主幹教諭・教務主任	古賀プラン2015について(講師:大住指導主事)	○人権教育実践事例をもとに古賀市の人権教育研修の在り方の理解を深め、人権教育推進担当者としての実践力を培うことにつながった。
2 年間7回(4月15日～2月23日)	市教育委員会主催研修会【児童生徒支援担当者研】	古賀市役所会議室	市内保・小・中・高等学校、特別支援学校の児童生徒支援担当者	児童生徒支援の現状協議	○子どもの支援の現状と課題について、実態に即しながら協議を深めることができた。また、児童生徒支援担当者としての自覚と資質の向上につながった。
2 古賀中校区 2月3日 東中校区 6月24日 北中校区 11月20日	市教育委員会主催研修会【人権教育副読本活用授業研修会】	古賀中学校 小野小学校 千鳥小学校	市内小・中学校の児童生徒支援担当者及び人権教育担当者等	各中学校区ごとに授業実践交流	○各中学校区独自の人権教育副読本を活用した授業研修を行うことで、人権教育を推進していく授業づくり及びその効果的活用、来年度に向けた見直しを図ることができた。

学校教育	課
------	---

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

2	8月3日	古賀市小・中学校全員学習会	福岡工業大学FITホール	古賀市内小・中学校教職員	人権教育の取組について(講師:田中博之教授)	○総合学力として「言語活動の充実」「学級力の向上」「家庭学習の重要性」を研修し、家庭や子どもの実態をつかみ、学力保障と進路保障を充実させることの大切さを学ぶことができた。
2	4月23日 7月15日	教育関係機関等事業への参加通知と掌握【校長人権・同和教育研修会】	福岡教育事務所	小・中学校校長	学校経営における人権教育の推進と充実について(外部講師、福岡教育事務所副所長)	○人権教育を推進する校長としての役割について理解を深め、人権教育が学校経営ビジョンの基盤をなすことを認識することができた。
2	1月28日	教育関係機関等事業への参加通知と掌握【教頭人権・同和教育研修会】	福岡教育事務所	小・中学校教頭	人権教育の指導の充実を図る校務運営について(講師:外部講師)	○人権教育の推進と充実を図るための識見を深め、教頭としての大切な役割を自覚し合うことができた。
2	5月12日	教育関係機関等事業への参加通知と掌握【人権・同和教育担当者研修会】	福岡教育事務所	小・中学校の人権・同和教育担当者	人権教育推進のための校内研修の在り方について(講師:人権同和教育室指導主事)	○人権が尊重される授業の在り方の理解を深め、人権教育推進担当者としての実践力を培うことにつながった。

学校教育 課

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

2	11月5日	教育関係機関等事業への参加通知と掌握【人権・同和教育担当者研修会】	古賀東中学校	小・中学校の人権・同和教育担当者	授業参観及び協議「人権意識の高揚を図る授業づくりの在り方について」	○「かがやき」「あおぞら」を活用した授業研修を通して、人権・同和教育の視点に立った具体的な授業づくりの方策を学び合うことができた。
3	中学校区ごとに年間3回(5月11日～2月5日)	要保護児童ネットワーク会議【学童支援部会】	サンコスモ古賀会議室	市内小・中学校児童生徒支援担当者、学童保育指導員、養護教諭、ひだまり館、特別支援主任相談員、SSW、適応指導教室、少年センター、児童相談所等関係機関職員、学校教育課指導主事	学校不適応や障がいのある児童生徒の把握、支援の協議	○保護を要する子どもの具体的事例をもとに、その支援の方途を関係機関と学校で連携し合い、協議を深めることができた。
3	中学校区ごとに年間3回(5月27日～1月26日)	要保護児童ネットワーク会議【問題行動部会】	サンコスモ古賀会議室	市内小・中学校生徒指導担当者、ひだまり館、特別支援主任相談員、SSW、適応指導教室、少年センター、児童相談所等関係機関職員、学校教育課指導主事	問題行動のある要保護児童生徒の実態把握、支援内容の協議	○子どもの問題行動に関する具体的事例をもとに、環境の改善や支援の在り方について関係機関と連携して協議を深めることができた。

学校教育	課
------	---

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

4	年間2回 (4月16日・ 10月21日)	適応指導教室・少年セ ンター連絡会議	古賀市青少年 センター	市内小・中学校の教 頭、少年センター所 長・主任、適応指導教 室主任指導員、学校 教育課指導主事	学校不適応や問題行 動のある児童生徒の把 握、支援の連携強化	○各校の窓口である教頭が参加することで、古賀 市適応指導教室や少年センターとのよりよい連 携について共通理解を深め、関係機関との連 携強化につながった。
5	年間6回 (6月3日～2 月15日)	校区連絡協議会代表 者会	古賀市役所会 議室	校長会代表、教頭会 代表、市内保・小・中・ 高等学校、特別支援 学校の児童生徒支援 担当者1名、人権・同 和教育担当者1名、学 校教育課指導主事	人権教育・学力保障・ 学校適応促進につい ての協議	○各中学校区における3部会の活動を通して、小 中連携や小小連携、保幼小中高連携が進んだ。 ●校区連絡協議会の取組のさらなる活性化が求 められる。
5	8月24日	古賀中校区連絡協議 会合同研修会	古賀市役所会 議室	古賀中校区小・中学校 教職員	「させた感」より「やった 感」を育む家庭学習の 指導(講師:大住指導 主事)	○させられる家庭学習から主体的な家庭学習へと取 り組む姿勢に変えていく教師の人権の視点に基づい た指導力の研修ができた。
5	8月5, 6, 7日	古賀北中校区連絡協 議会人権教育部会	古賀北中校区 集会所	古賀北中校区小・中学 校教職員	地元の部落差別の現 実に学ぶ(講師:智原 和子さん)	○し尿処理場撤去、海津木苑設置の歴史的背景を 学び、古賀の歴史を学ぶことができた。
5	8月20日	東中校区連絡協議会 合同研修会	サンコスモこが	古賀東中校区小・中学 校教職員	古賀市人権センターの 取組(講師:人権セン ター大谷・小西さん)	○人権啓発DVD「あなたに伝えたいこと」を視聴し、 ワークショップ形式の討議を行い、自分の思いや考え を出すことで人権感覚を磨く研修ができた。

学校教育	課
------	---

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

6	年間3回 (6月11日～ 2月25日)	高等学校等中途退学 問題調査研究会議	古賀市役所会 議室	市内中学校の児童生 徒支援担当者、市内 及び近隣高等学校関 係職員、代表小学校 長3名、学校教育課関 係職員	中途退学に係る情報 の共有化及び進路保 障に向けた取組の協 議	○参加者対象者を各中学校区の代表小学校長 にも広げたことで、小・中・高連携のもと、中途 退学防止に向けた取組の共有化が進み、進路 の保障に資することにつながった。 ○子どもの貧困対策について意見交換を行うことが できた。
7	4月～2月	各学校における授業研 究会実施による取組推 進【4年社会科学習】	各小学校	市内小学校の教員(4 年担任中心)	社会科の単元「住みよ い暮らしをつくる」にお ける「わたしたちのくら しとし尿」の授業実践・ 海津木苑見学	○海津木苑見学や海津木苑職員をゲストティー チャーに招く授業づくりを通して、し尿観や職業 観を問い直す学習を充実させることができた。 ○「し尿が処理されていく仕組みがわかった。」 「食べて出すことは、生きるために大事なことだど 思った」等、子どもの感想が見られ、安心して学校 で排泄する子どもの姿につながった。
7	9月頃	各学校における授業研 究会実施による取組推 進【4年総合的な学習の 時間】	各小学校	市内小学校の教員(4 年担任中心)	総合学習「働き名人」 で海津木苑見学	○「食育」と関連の深い「排育」の授業づくりにつ いて、学年の系統性を大切に、総合的な学習を 中心とした教材研究を深めることができた。
8	10月～11月	人権フェスタ	市内各小・中学 校	市内小・中学校児童生 徒・保護者・地域住民	学校行事または総合 学習の一環として保護 者・地域に人権尊重を 啓発	○人権をコンセプトにしたフェスタやヒューマンズ クール等の実施は、子どものみならず地域や 保護者を巻き込んだ人権啓発を行う上で効果 的だった。
9	年間3回 (7月6日・10 月6日・2月2 日)	古賀市小中学校学力 向上推進会議	古賀市役所会 議室	古賀市内小・中学校教 職員	児童生徒の実態に応 じた学力保障(講師:清 水紀宏教授)	○全国学力・学習状況調査と標準学力調査の結果 分析を通して、授業改善の方途や学習コンクール 等、学力保障の具体的方策を共通理解することが できた。

学校教育	課
------	---

平成27年度海津木苑設置による啓発の取組結果

10	6月12日 1 月13日	体力向上推進会議	古賀市役所会 議室	古賀市内教頭会代 表、各学校体育担当 者	体力向上に向けた効 果的な取組について の協議	○各小中学校の体力向上プランや取組の情報交換 および協議を通して、体力向上に向けた効果的な取 組の推進を図ることができた。
11	7月27日	古賀市小中学校若年 教師人権・同和教育研 修会	古賀市役所	古賀市小・中学校教職 経験2～3年の教職員	古賀市の人権に関す る諸課題を理解し、人 権教育推進に向け、教 職員としての自覚を深 める(講師:青木委員 長)	○古賀市の人権同和教育と若年教師に期待すること を講話いただき、委員長を交え協議することができ た。
	年間20回 (5月～1月)	教育懇談会【学校単 位・中学校区単位】	隣保館「ひだま り館」・高田教育 集会所・鹿部集 会所・小中学校 会議室	古賀市小・中学校教職 員、地協、住民、保護 者、地域活動指導員、 学校教育課長・指導主 事	各学校及び中学校区 における人権・同和教 育の推進についての 協議	○学力保障・進路保障等の取組や人権・同和問題に 係る授業づくり等について、市内小中学校で年間計 20回もの協議を深めたことが、教職員の人権感覚を 教職員一人ひとりが自ら問い直す場となり、人権・同 和教育の内容の充実を図ることができた。

海津木苑設置による啓発の取組結果及び取組計画

教育部 生涯学習推進課

2015年度（平成27年度）取組計画	2015年度（平成27年度）取組結果
<p>(1) 社会教育関係団体、分館教養学級等での人権教育研修会の継続実施</p> <p>(2) 「いのち輝くまち☆こが2015」や人権をテーマにした講演会等への市民の積極的参加の促進</p> <p>(3) リーパスプラザロビーを利用した人権ひろばの開催による市民啓発</p> <p>(4) 人権尊重の視点を基盤に据えた家庭教育講座等の開催</p>	<p>(1) ①分館教養学級で人権学習を実施(詳細は別紙) ②育成会役員を対象にした人権研修会を開催(48人参加)</p> <p>(2) 「いのち輝くまち☆こが2015」において、午前の集い参加者が午後からの各分科会、特別講座に参加しやすいように昼食(豚汁、おにぎり)を市民講座スタッフ等が準備し参加を促進</p> <p>(3) リーパスプラザロビーを活用した人権ひろばの開催(パネルやポスター標語等の展示)</p> <p>(4) 家庭教育支援事業において、『家庭教育講座(家庭教育ひろば)』では、「お母さんの社会科見学～ウツギエンってどんなトコロ」と題して、「古賀市が取り組む排育について」「海津木苑建設までの経過と背景」「し尿処理施設の仕組み」等の講話と実際の処理施設見学を実施した他、パソコンやスマホ、携帯電話等のメディア機器使用に潜む人権問題、思春期を向かえる子どもたちについて学ぶ内容も取り入れ実施した。(講座参加者のべ78人)</p>
2016年度（平成28年度）取組計画	
<p>(1) 社会教育関係団体、分館教養学級等での人権教育研修会の継続実施</p> <p>(2) 「いのち輝くまち☆こが2016」や人権をテーマにした講演会等への市民の積極的参加の促進</p> <p>(3) 生涯学習センター(交流館等)を利用した人権ひろばの開催による市民啓発</p> <p>(4) 人権尊重の視点を基盤に据えた家庭教育講座等の開催</p>	

平成27年度 古賀市分館教養学級実績(人権関係)

成人学級

分館名	実施月	内 容
花鶴丘3	4	出前講座・障害者の人権啓発ビデオ鑑賞
千鳥東	6	人権学習(認知症サポーター養成講座)
花鶴丘2丁目3区	6	人権学習啓発ビデオ、「探梅一春、遠からじ」鑑賞
久保西	7	同和問題を考える市民のつどい参加
久保	9	出前講座(人権を考える)泉林寺住職
古賀北	9	人権学習啓発ビデオ、「ヒーロー」鑑賞
舞の里4区	9	認知症を理解する為に出前講座、「認知症サポーター養成講座を受講」
古賀南	10	古賀西校区人権啓発研修会、啓発ビデオ「imaginastion」鑑賞
町川原2	11	青柳校区人権啓発研修会、啓発ビデオ「ヒーロー」鑑賞・意見交換
花見東1	11	啓発ビデオ「伝えたいこと」鑑賞・意見交換
庄南	12	出前講座「考えようみんなの人権」啓発ビデオ「ヒーロー」鑑賞
米多比	1	小野校区人権啓発研修会、啓発ビデオ「imaginastion 想う つながる 一步ふみだす」鑑賞
小竹	1	「うまれてきてありがとう」mon(歌手)さんによるトーク&コンサート(雪の為中止)
鹿部	2	人権について考える「インターネット時代における同和問題」
花見東1	2	人権落語を聴く(人権問題を笑顔で話せることで人権に対する考えを変える)
古賀団地	3	人権啓発講座、DVD「コスモスの咲く日」鑑賞

女性学級

分館名	実施月	内 容
花鶴丘1丁目	7	「橋はかかる 被差別部落に生まれ育って」村崎太郎さん講演
花鶴丘2-3	7	同和問題を考える市民のつどい参加
花見東1	7	同和問題を考える市民のつどい参加
古賀北	9	啓発ビデオ「ヒーロー」鑑賞
古賀南	2	精神障害者の人権について、地域活動支援センター「みどり」施設長講演
筵内	3	出前講座「男女共同参画社会について」

高齢者学級

分館名	実施月	内 容
中川	4	認知症についての啓発ビデオ「ペコロスの母に会いに行く」鑑賞
日吉台	8	認知症発症者への支援について(意見交換)
米多比	1	小野校区人権啓発研修会、啓発ビデオ「imaginastion 想う つながる 一步ふみだす」鑑賞